|  |  |
| --- | --- |
|

|  |
| --- |
| 〒144-0052東京都大田区蒲田5-10-2日港福会館5階Tel　03(3733)5621　　Fax 03(3733)5622メール roren@kensu.jpﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.kensu.jp/**全 国 検 数 労 働 組 合 連 合****書　記　局** |

　６８２号 |

.

１１月１８日（木）０９：３０～１０：００第３回検数労連２１冬季一時金交渉

***地域間格差反対！乗率重視の回答構築を！***

***コロナからの回復傾向にある今こそ組合要求に沿った回答を！***

**【第３回交渉】**

　１１月１８日（木）第３回検数労連２１冬季一時金交渉で、組合は両協会に対し有額回答に向けた考え方の披歴を求め、交渉を行いました。

**【日検協会】**

　今冬季賞与の算定基準となる２０２１年上期の収益状況について、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある中で、上期の支部計画では一部の支部を除いて計画比を上回ることができた。また、計画比を下回る支部についても収益ではすべての支部で若干ではあるが黒字計上している。

　昨年下期との比較でも収益は上回っているものの、昨年下期は新型コロナウイルス感染症の影響が強かった時期でもあり、比較対象にはならない。

　この間、回復傾向は顕著に表れてはいるが、まだコロナ前の状況には至っていないのが現状である。しかしながら、これまでの従業員の日々の努力にどう応えるか。様々な角度から鋭意検討し、有額回答を構築していきたい。また、配分方式は従来通りを踏襲し、賞与は業績の配分との考え方から、業績評価を加算していく考えでいる。

**【全日検】**

　新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあ

**【国交省港湾局２０２０年度港湾労働者不足実態調査より】**

　　　　　　　　***検数両協会は、***

***賃金・一時金の大幅UPで***

***退職者の歯止めを****！*

るなかで、貨物取扱量も増えてきている。しかしながらこの対比は新型コロナウイルス感染症がピークであった昨年との対比であり、コロナ前の状況にまでは至っておらず、一部の支部では回復傾向に遅れが出ている現状もある。

今後の見通しについても、世界的な半導体不足の影響などもあり、本格的な回復にはほど遠いとの認識でいる。

　そのような中ではあるが、今一時金については従来通りの算式を踏襲し、組合が主張しているとおり、乗率を重視した回答を構築していきたいとの考えでいる。

**【組合主張】**

　組合は両協会から今一時金回答構築に向けた考え方を聞き、次のような主張を行い、次回交渉での有額回答提示に取り入れるよう主張しました。

　これまでコロナ禍の中で月例賃金が目減りしてきた。今一時金については回復傾向にある中で目減りした賃金の補填分として組合要求に沿った回答の構築をすべきである。

　両協会ともにこれまでも地域間格差のある回答を提示してきた経過があるが、コロナ禍においても全国の従業員は同じように日々現場に出て働いてきた経過がある。回復傾向にある今一時金においては、全国で働



く従業員の労苦に応え、モチベーションを維持するためにも地域間格差のない回答を提示するべきである。　　特に全日検北海道の大幅な格差回答や、契約雇員・準職員の低額回答は許されない。

　慢性的な人員不足のなか、職場を支えるために日々現場に出て働いている組合員の労苦や、離職者を出さないためにも組合要求に沿った乗率重視の回答を求める。

　両協会は『従来通りの回答算式、支給方式』との考えを示したが、このことは組合の一時金要求と乖離している部分があり、回答算式・支給方式等、根本的に改めることを求める。

　全日検の特別評価の復活は認められない。

**次回交渉**

**１１月２５日（木）１４：００～第４回検数労連２１冬季一時金交渉**

**※次回交渉では有額回答提示（予定）。組合員は次回交渉に注目せよ！**